

すぎのこ

167

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2022 7/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 映画研修センター：〒350-1315 埼玉県狭山市北入曽695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706
 滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 巡回公演だより／遠山幼稚園・遠山保育園からのお手紙／池袋いけいけ人形劇まつり／制作だより／がんばれ！ルルロロ ゴールデンウィークステージフェスタ ほか
 4面 日本芸術文化振興会助成事業／賛助会員募集／演育チャンネル ほか

<http://www.suginoko.org/>
[E-mail: support@suginoko.org](mailto:support@suginoko.org)


新作「たのきゅうのうわばみたいじ」の舞台に集合

人生において 成功は約束されていないが 成長は約束されている

理事長 大場 隆志

平家物語の冒頭は、「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす。奢れる人も久からず、ただ春の夜の夢のごとし。猛き者も遂にはほろびぬ、偏に風の前の塵にのみおなじ。」とはじまりますが、諸行無常を英語にすると
 “Everything is changing”と、
 「すべてのものは、一瞬もとどまることなく変化していく。」という意味になります。

前回、コロナ禍において、あらゆる分野で例外なしに変化が起き、変化の幅も大きく、変化のスピードも速く、十年分の技術革新が一気に進み、旧来のサービスや考え、業界そのものが完全に覆された時代遅れとなったと言いました。しかし変化しているのは今の時代だけではなく、昔から物事は変化し続けているということも分かっています。

二年以上続くコロナ禍で、私たちのようなリアルな顧客体験を提供している業界は厳しい状況が続く、逆境を乗り越えるだけではなく、大きな発展を遂げなければならぬという未曾有の危機を迎えました。

そして、この変化についていけないと嘆き、コロナの影響を受けなかった業界を羨ましく思い、また

もライオンでもよかったはずだ。なぜならカメラは一度も相手を見ない。カメラは旗の立っている頂上、つまり人生の目標だけを見つめて歩き続けた。一方のウサギはカメラのことばかり気にして、大切な人生の目標を一度も考えることをしなかった。君の人生目標は、いカメラになって歩き続けなさい」と言い、さらに養田社長はこう言った。

「どんな急な坂道があっても、止まってはだめだ。苦しい時には、ああ、なんと有り難い坂道なんだ。この坂道は俺を鍛えてくれていて感謝しなさい。有り難いというのは難が有るから有り難いんだよ」

このひとりで迷いは吹っ切れ、自分の人生の目標に向かって黙々と歩き続けようと思った、と歌之介さんは言っています。人生も経営も挑戦と創造の連続であると思います。

人は挑戦することで新しい一歩を踏み出し、新たな現実を創造することが出来ます。

そして挑戦と創造なくして成長はないことも、私たちに教えてくれています。

私たちもまた生ある限り、先達に学び、情熱をもって、果敢に、挑戦と創造に生きる人生を全うし、すぎのこ芸術文化振興会を通じて、多くの皆様に喜んでいただくという目標に向かって取り組んでまいります。



巡回公演だより



たのきゅうのうわ
ばみたいじ 班



今年度の新作は「たのきゅうのうわばみたいじ」です。

たのきゅう、とは「田能久」落語に出てくるお芝居好きで芸達者な九兵衛さんのことだそうです。

うわばみ、とは大きな蛇で、酒飲みのことでもあるそう。私もお酒が好きで、実際にうわばみを演ずることに、少しこそばゆさを感じます。

生まれ故郷の小学校の裏庭で、蛇を見つけてからかって、頬をこまれた同級生がいたっけなあ。親戚のおばあさんが野良仕事で蛇のしっぽを踏んだら、鎌首を上

げて威嚇してきたが、「ごめんよ、悪かったな」と謝ったら、頭をぺこりと下げてによるりと去っていったとか。納屋の屋根裏に蛇がいて、怖い反面、金運のお告げだと喜んだとか。

そして、いつだったか地方公演の合間に散歩していて、蛇に出くわした時しか思い出せないほど、実際にはしばらく蛇を見ていません。

演出家から「蛇はまっすぐに動かないよ」とダメ出しをされ、遠い昔のエピソードや体験を思い出しています。蛇の登場、変身を観ていただけたらと思います。

ハラハラ、ドキドキの冒険活劇、観ていただける皆様と共有して、コロナや暑さを忘れるひとときでありますようお願いいたします。

(榎本 均)

はだかの王様

班

「はだかの王様」というと、みなさんはどんなイメージでしょうか？おしゃれ。おしゃれが大好き。おしゃれにしか興味がなく、政治のことなんてそっちのけ。だけど、すぎのこの王様はちと違う。王様がかっこ悪くては、王国は成り立たないと憂いている。絵本やアニメ・舞台、色々なアレンジの「はだかの王様」があるが、すぎのこの王様は最も善人かもしれない。しかしながら、善人であっても

思慮は足りない。着飾ることで威厳を保つことは考えるが、良き政治をする発想はない。これでは、世界一のファッションデザイナーを名乗る詐欺師に大金をせしめられるも、無理はない。

ただこの王様には、この出来事を通して思慮深く成長している節がある。子どもに指摘されだまされた気付いた後も、あえて裸のまま国民の前に立ち続ける。「立派な王様になりました」のナレーションで人形劇は終わるが、この時の王様には、自らと向き合った末の覚悟を感じる。

王様の想いを、どこまで子どもたちに伝えられているだろうか？裸をおもしろがる反応ばかり目立



宮城県七ヶ浜町 遠山幼稚園・遠山保育園からのお手紙

拝啓

寒さ厳しい折、劇団の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のことと思います。毎年、子どもたちに本物の人形劇を見せていただき、その時の感動や印象が子どもたちの心に残っているようで、「今年は何のお話かな？」とポスターを見ながら、指折り数え、楽しみにしています。

0・1歳児から見てきた子どもたちは、話したり動いたりする人形に目を奪われながら見てきたのでしょう。それが5歳児になると、人形に触れてみたい、どうして動くのだろうという気持ちも芽生えていたようです。

昨年のお話は、その意味で人形の大膽な動きや話し言葉が面白かったりし、ますます人形への興味が膨らんでいったようです。人形劇が終わってから先生にその思いを伝え、劇団の方の好意で人形と直接出会うことができました。その喜びや知り得たことを今度は友達に伝えて、自分たちの人形劇をする遊びになりました。

どんなお話にするか、人形は何の材料でどうやって作るか、誰がどの役か、舞台が必要など、遊んでいくうちに次々と課題が出ましたが、友達同士や先生と相談し、2週間毎日夢中になって取り組みました。始めはクラスの一部で演じていましたが、他の学年に呼びかけ、チケットを渡したりして見てもらいたい気持ちが出てきました。

それではと、十二月のお誕生会で3・4・5歳児クラスが見ている中で演じてみてはの提案に、とても張り切り、楽しんで演じていた姿が印象的でした。演じた子どもたちは大満足で、年下の子が人形に触れようとすると、動かし方を教えてあげるなど、まるで劇団員の人のようでした。(そうしてもらったんですものね。それも生きています)

こうした一連の子どもたちの活き活きとした姿が生まれたことに私たちも感動し、劇団すぎのこの人形劇が子どもたちの成長にプラスになっていることを確信しています。私たちもまた子どものように純真な目と心で、子どもたち同様これからの劇団すぎのこの人形劇を楽しみにしています。

敬具

副園長 渡邊みゆき



静岡県富士市藤田幼稚園からのプレゼント



つ気もする。
それでも僕は王様として、子どもたちの前で舞台に立つ。それが、物語の中を生きていることにつながっている気がして…。

(野見山 大輔)

おむすびころりん

班

私は、おむすびが大好きで、手に収まらないくらい巨大おむすびをよく作って食べています。お

ばあさんの作ったおむすびは、ねずみの家につながる穴に落ちちゃってしましますが、私の作ったおむすびだったら、大きすぎて入らないでしょう。

私が自分のために作るから自分の好みのサイズになるように、「誰に作るか」、あるいは「作り手の思い」によって、大きさや握り方は変わってきます。おばあさんが「おいしゅうなれ」とおじいさんのために作るおむすび。隣のじいさんが己の欲のままにギューギューに力を込めて作った固いおむすび。おむすび一つで人を表現できるって面白いですね。

観劇後、「誰かのために作るおむすび」をテーマに、子どもたちに作る機会を設けてみるのもいいかもしれないですね。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん…身近な人に作ってあげてほしいなと思います。そのおむすびは、どんなにギューギューで不格好でも、きつと幸せな気持ちにしてくれるでしょう。

(長谷川 唯)



制作

一段と暑さが増し、いよいよ猛暑の季節となりました。昨年一昨年と同様、まだまだコロナ禍で、大変な状況だと思います。新株・変異株等も見つかり、時々刻々と変わる様子に対応等々と苦労さ

れているかと思えます。ですが、感染者数も少しずつ減り始め、多少は良くなっているのでは？という希望を抱けるようになってきたかと思えます。

ここ数年中止となっていた池袋いけいけ人形劇まつりに、以前よりは規模は小さくなりましたが、すぎのこも参加・上演することができました。また、コロナが落ちければ、長野県で開催されるいい

池袋 いけいけ人形劇まつり

本番前、舞台裏でスタンバイ。高まる心拍数が自分の中にある感情をあらわにさせる。「人前に立つのが怖い。なぜ私はこの場にいるのだろうか」――

毎年ゴールデンウィーク恒例のイベント「池袋いけいけ人形劇まつり」が、今年5月4日、2年ぶりに開催されました。

幼稚園・保育園を中心に巡回公演を行っているすぎのこにとって、一般のお客さんに劇を観ていただける貴重な機会です。今回は、私が「茶壺道中」という演目で参加させていただきました。この作品は、童歌「ずいずいずっころばし」を元に、江戸時代の大名行列の様子を大型絵本を用いて、語りで進めていく一人芝居です。

――コロナの影響が続く中での開催だが、久々の開催ということもあってか、会場には子どもからご年配の方まで、多くの方が足を運んでくださっていました。

園児には難しい内容のためふだんの公演では披露できない作品が、日の目を見る瞬間に胸が高鳴る。しかし、一人で舞台に立つ時、心に必ず不安が宿る。そんな私の



背中を押したのは、前日に鑑賞したミュージカル「メリーポピンズ」だった。――

歌唱時のまっすぐなまなざし。お芝居から伝わるエネルギー。カーテンコールでは全員がスタンディングオベーションする程だった。

――ひとつのステージで人は心動かされる。「よし、私もやってやる！」そんな気持ちにさせてくれた。

本番を終え、最後に温かい拍手をいただいた時、今までで一番良いものが届けられた…と手応えと達成感で満たされました。自分のエネルギーを形にして届けことが、私のやりがいなのだと思わせてくれた一日でした。

(長谷川 唯)

演育ワークショップ

4月20日、5月18日の2日間、埼玉県飯能市にある、さゆり幼稚園において、演育ワークショップを実施しました。(今年度8回実施予定)

4月の内容は、自由な発想でごっこ遊び(身体表現)をするねらいで、想像力を育成する「生き物の表現」。

の表現」。

子どもたちは、それぞれが自分の発想で、ちようちよになったり、ダンゴムシになったりして、楽しんで変身してくれました。ちなみに、一番人気は怪獣でした。

5月には、音楽に乗って踊り、楽しみ、一体感を感じとる「ストップモーション」と身体の動きを意識する「スローモーション」。また、大きな声ではっきり言えるように、口の形、発声練習も行いました。12月にある発表会に、少しでも役に立てたらと思います。

演育とは、「演劇的な方法」を活用して、子どもの心と体を健やかにのびしていく演劇ごっこ。ゲームを楽しく繰り返し、感性力・表現力・想像力と創造力を身につけていく教育の方法です。そして、演育が育てたいものは、「伝える力」「自分を表現する力」。

すぎのこでは、演育を全国展開しております。興味を持たれた方は、お問い合わせください。

(下村 明)

いいだ人形劇フェスタ

8月4日〜7日に長野県飯田市で開催される、いいだ人形劇フェスタに参加することになりました。

がんばれ！ルロロ ゴールデンウィーク ステージフェスタ

ゴールデンウィークの3日間、上野・飛行船シアターで、人形劇「ルロロと宝さがし」の公演を行いました。

大きなスクリーンに映像を映し出し、背景がどんどん変化していく、すぎのこでは新しい挑戦となる人形劇の形態です。見つけた地図を手に冒険に繰り出すルロと口。

私たちの世界はまだまだ落ち着かない状況ではありますが、来てくれた子どもたち、そして保護者のみなさんが、ルロと口と一緒に冒険をして、少しでも温かな気持ちになっていただけたなら、これほど嬉しいことはありません。舞台の世界は無限に広がっています。さあ、リュックを背負って、冒険に出かけましょう！

(吉田 薫)



独立行政法人 日本芸術文化振興会
助成事業



トン吉とカラス

【完了のご報告】

日本芸術文化振興会の芸術文化振興基金による助成事業、令和3年度「トン吉とカラス」全国巡回公演を令和4年2月に完了いたしました。



都道府県ごとの公演日数と公演回数をお知らせいたします。	
都道府県名	日数 回数
北海道	15 27
茨城県	1 2
群馬県	1 2
埼玉県	6 11
千葉県	3 5
東京都	4 7
神奈川県	4 7
福岡県	8 14
佐賀県	3 4
長崎県	12 20
熊本県	3 5
大分県	7 11
宮崎県	7 13
鹿児島県	20 36
合計	164 4

そっくりのくりのき

【完了のご報告】

日本芸術文化振興会の芸術文化振興基金による助成事業、人形劇「そっくりのくりのき」を2月28日に完了いたしました。公演実績は次の通りです。

県名	日数	回数
栃木県	1	2
埼玉県	2	3
合計	3	5



今回も新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、思うように巡回公演を行うことができない時期もございましたが、そのような中でもご理解とご協力をいただき、観劇会を実現してくださった園様に心よりお礼申し上げます。

日常生活におけるコロナ禍のさまざまな制限も長期にわたる中で、子どもたちが、物語に触れてワクワクしたりドキドキしたりする時

間を過ごせることができるように、今後も「そっくりのくりのき」をお届けしてまいります。

現在本作品は首都圏を中心に巡回しておりますが、その他の地域の園様も、ぜひお気軽にご相談ください。

本事業の実施にあたり、日本芸術文化振興会様のご支援とご協力に心よりお礼申し上げます。

演育チャンネル

ごっこ遊びやゲームのように、演劇的な方法を活用した映像と一緒に、楽しく繰り返し視聴・体験することで「感性力・表現力・想像力と創造力を身につけていく」映像教育サブスク

賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

- 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
- 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
- (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額 3,000円 以上
団体	年額 10,000円 以上
- (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間 3日間以上
団体	年間 5日間以上
- 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費（技能提供予定書）を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
- 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
- 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
- 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
- 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
- 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
- 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
- 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
- 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
- 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
- この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

活動記録(令和4年4月～6月)	
4/20	演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
5/3	「ルルと口口の宝さがし」劇場公演を実施 於・飛行船シアター(東京都台東区)
5/4	池袋いけいけ人形劇まつりに参加 於・南大塚地域文化創造館(東京都豊島区)
5/9	第一期全国巡回公演開始 第22回定例理事会 於・当公益財団事務所
5/12	演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
5/18	第11回定例評議員会 於・当公益財団事務所
5/27	令和3年度事業報告及び収支決算報告を内閣府に提出
6/30	